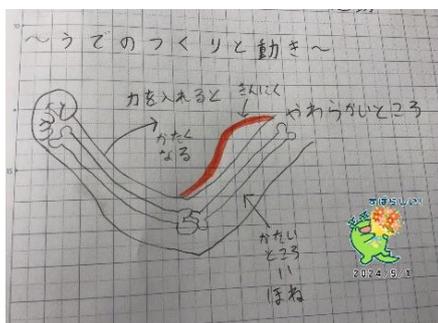
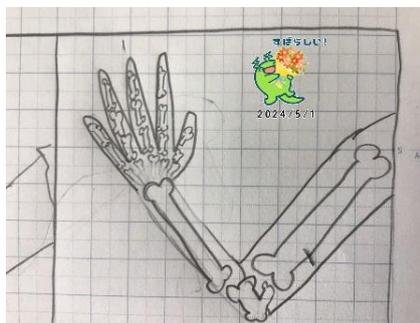


ストローと割りばしでストローきんにくんをつくろう ～ものづくり教材で単元を貫く～

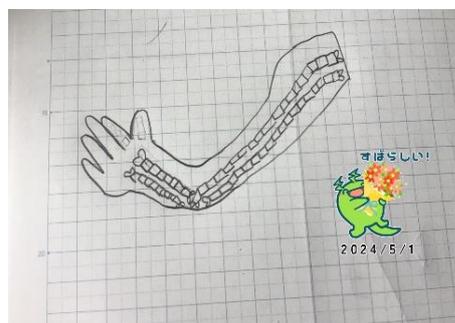
4年生「動物のからだのつくりと運動」の学習では、腕を曲げたり伸ばしたりするのは、どのような仕組みで動くのかを調べました。骨と骨のつなぎ目（関節）に着目し、筋肉の動きを確かめました。自分の腕を動かしたり、触ったりして骨と筋肉の仕組みを予想した後に、骨格模型やデジタル教材を活用して理解を深めていきました。ストロー模型は、単元が終わるまで机の上に置いて、動かしながら活用します。



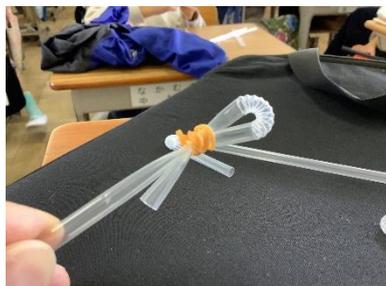
1本ずつ2本



1本と1本の間にもう1本



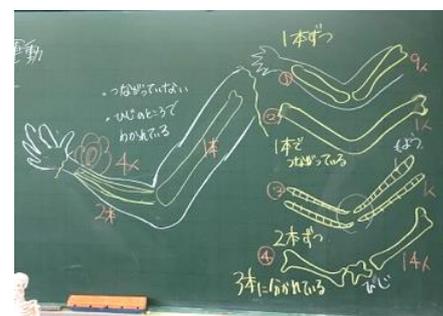
小さな骨がたくさんつながっている



曲がるストローを輪ゴムで止める。



わりばしが関節部分になる。



紙で手を付ける。

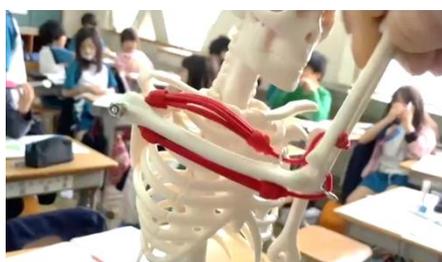


曲げると赤い画用紙が膨らむ。



のばすと青い画用紙がふくらむ。

できたストロー模型は、どんな名前にする？と聞くと、「ストローきんにくん！！」と言ってくれた子がいましたので、そのネーミングを採用しました！



班に1台ずつあるミニ骨格模型で調べる。

教科書のQRコードをタブレットで読み込むと…

